

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel. 376-5961
<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

『共創』『共育』で創るこれからの学校

校長 清田 博之

保護者の皆様、先日はお忙しい中、オンラインでの懇談会、学習発表会にお時間を割いていただきありがとうございました。また、大変遅くなりましたが、過日実施いたしました「学校評価アンケート」へのご協力もありがとうございました。「学校評価アンケート」は、学校にとって最高の財産です。いただいたご意見一つ一つが、学校へのエールとなり、具体のご示唆は、学校をより良き方向へ導く羅針盤ともなっています。いただいたご意見を真摯に、真正面から受け止め、来年度の学校経営に活かしていきたいと思っております。

さて、令和二年度は、新型コロナウイルス感染症とともにありました。三月から長期にわたる臨時休業。学校再開後も「学校の新しい生活様式」によって多くの教育活動が制限されました。そんな中でも、学校としてどんなことができ、どんなことができないのか。制限の中での最適値はどこにあるのか。子ども目線で、保護者目線で、市民目線で考え続けてきた日々でした。こんな時こそ、学校と保護者が子どもたちを支えるパートナーとして、想いと力を合わせることが大切と考え、毎朝の健康チェックや消毒に関する消耗品の補充などもお願いさせていただきました。ありがとうございました。『共創（学校を共に創る）』『共育（子どもたちを共に育む）』。今後、この流れは、より大きく強くなり、その熱量の大きさが学校の価値と比例すると考えています。

毎年四月。新しい担任の発表を受けて、“今年の先生は…〇”“今年の先生は…△”の心の声。少なからずこんなことをお思いになるかもしれません。経験の差、授業力の差、子どもへの寄り添い方、それぞれの強みと弱み…、あるのは当然です。しかし、保護者の皆様の理解、励まし、そして『共創』『共育』の姿勢なくして、この差は永遠に埋まらないようにも思います。勿論、公立学校ですから、その差をできるだけ少なくする努力は続けていきます。「誰一人とり残さない」という最上位概念の下、「チーム稲荷木」の精神で支えていきます。また、引き続き『少人数指導体制』、高学年での『一部教科担任制』、『ICTの活用』を取り入れ、「どの子にとっても楽しく、わかりやすく、参加しやすい学習指導」への改善にチャレンジしてまいります。

コロナ禍の中、先が見通せない状況ではありますが、学校は歩み続けます。子どもたちの学びも続きます。豊かなパートナーシップで『共創』『共育』を推進し、未来を創る子どもたちを支えていきたいと思います。

☆来年度のPTA活動について

現時点で決定している来年度のPTA活動についてお知らせします。

- 4月16日（金） 14：00～懇談会（PTA役員決め） 15：00～専門委員会
 4月20日（火） 9：30～登下校委員（全員）の振り分け作業 ランチルーム
 9：30～学級長（全員）仕事の振り分け作業 家庭科室

上記のようになっておりますので、新しく登下校委員、学級長になられた方には出席をお願いすることになります。

※PTA 総会については、昨年度と同様に書面開催とさせていただきます。



☆学校関係者評価について

学校運営委員の皆様、「保護者アンケート」「職員アンケート」「学校生活アンケート（児童回答）」の結果と分析を基に『学校関係者評価』をしていただきましたので、その結果についてお知らせいたします。（評価は5段階評価です。）

○「確かな学力」：評価平均 4.2

- ・「主体的に学び合う児童の育成」を目指し、読む力の定着を図る授業研究が、様々な手立てを工夫して積み重ねられている。
- ・子どもたちの学力向上に向けての取り組み方、視点、研究会への参加などよくできている。
- ・自学の習慣や積極的に調べる力が必要。・学習環境を整えていきたい。
- ・学年体制等による指導、読書に親しむ習慣づくりができています。

○「豊かな心」：評価平均 4.3

- ・学校経営を基盤として、人との関わりについて各教科・領域などにも関連付け、誰とでも優しく接する気持ちを育てようとしていた。
- ・いじめ撲滅への取り組み、早期発見、早期解決が、傷が最小限で済む。教育相談の充実「先生と話そう週間」、子どもとの対話をこれからも大切にしてほしい。
- ・読書の習慣化が不十分な感じをうける。

○「健やかな体」：評価平均 4.2

- ・コロナ禍の中で日常生活習慣が乱れないように家庭と連携し合って子どもたちが元気に過ごせるような工夫がなされていた。（マスクをつけないイナリピック開催よかった）
- ・健やかな体を作るためには、早寝早起き朝ごはんが大切。「元気っ子カード」生活習慣の自己評価を続けてほしい。
- ・ゲームやスマホ、テレビの時間が気になる。・体を動かす時間を取りたい。

○「信頼される学校」：評価平均 4.5

- ・学校だよりで目指す子どもの姿や学校経営について伝えて保護者の理解を図っていた。また学年・学級だよりなどで子どもたちの様子を伝える努力もしている。
- ・学校公開等々、保護者の立場に立った情報発信が信頼される学校になる、とても情報発信が多く学校の様子がよくわかった。
- ・メール配信はとても助かる。保護者の立場に立った情報発信ができています。

☆『食育』の授業

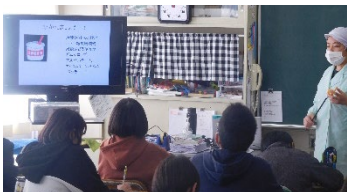
今年度も今までに何回かいろいろな学年で栄養教諭と学級担任がチームを組んで『食育』の重要性を子どもたちに指導する機会を設けてきました。今回は、3年生と6年生を対象に行いました。



・3年生：「よいウチを出そう」

よいウチってどんなウチ？よいウチを出すには、どんなことに気をつければいいのかな？

ウチ博士から、食事や好き嫌いをしない食生活の重要性を教わりました。



・6年生：「これからも健康に生活をしよう」

健康な食生活をおくるための基本は、赤・黄・緑の食品をバランスよくとることだね。